

俳句 かねやま紅風会

荒屋 阿部 勝子

玄関に活けし四葩のおもてなし
山百合の香に包まれし夫の墓

荒屋 関 喜美子

秋近し冷気肌さすウオーキング
裏山や我がもの顔の蟬時雨

菅越 庄司けみ子

向日葵の支へ傾き雲早し
椅子ひとつ何処まで続く草むしり

七日町 青柳キエ子

暫くは愛宕山に懸かる月涼し
水無月や筆に気魄の書作展

七日町 柴田 栖静

彩雲と変へし夕日や富士詣
雲中の声は何処ぞ登山道

七日町 伊藤 敏子

盆支度母が遺せし菜包丁
どっしりと鳥海山座る土用丑

羽場 坂本徳太郎

気配りの足らぬ間へと胡瓜の手
梅雨明けや未だ心身定まらず

上台 阿部 一

火の玉となりし東北祭かな
早々と冬を覚悟の薪を積み

内町 矢口智恵子

螢見の兎ら歓声寺の下
静心難聴夫婦涼台

七日町 村松 恣風

物の影見せぬ街並あぶら照り
携帯の饒舌やまぬ片かげり

金山杉俳句会報 第三三四回

神室祭人情厚き村の衆

智恵子

絵日記を飛び出したのか夏の雲

セイ子

復興をかけし球児の光る汗

サタエ

余震なほ赤くなりけりプチトマト

アキ子

原発の風評桃の袋掛け

敏子

効きすぎの薬朝顔のひらくころ

恵美子

フルートの森に流るる夏館

よし子

黄昏の中を急げり蝉の声

順子

図書室だより 中央公民館内 9:00~16:30



◆うんこ ばい菌 元気のもと! 全3巻
齊藤ふみ子/文 (汐文社)
うんこ、おしっこ、ゲロ…わあ、きたない!でも、みんな体の中にあつたもの。どうして出るのか、何のために出るのか、一緒に見てゆきましょう。



◆江戸のくらしから学ぶ「もったいない」全3巻
秋山浩子/文 (汐文社)
江戸の町では、エコヨリサイクルの考えが暮らしの中に取り入れられていた。再生、修理、工夫…。現代にも生かせる「もったいない」の秘密を探しに行こう。

★★★★★ その他の図書はこちら ★★★★★

- ◆宇宙のひみつがわかる本全6巻
- ◆地球のかたちを哲学する
- ◆原寸大すいぞく館・昆虫館
- ◆実物大人体図鑑全3巻
- ◆恐竜の飼いかた教えます
- ◆江戸の算数・なぞ絵・迷路

『みどり文庫』図書 貸出中です!

「みどり文庫」とは、有志の方々からよりよい図書活動のためにいただいている寄付金を充てて購入しています。このたび購入した図書はこちらです。ぜひご利用下さい。



『いいこつてどんな?』

「ねえ、お母さん、いいこつてどんな子?」

うさぎのバーンぼうやがたずねました。

「絶対泣かないのがいい子?それとも強くて怖いものがない子?」

お母さんは答えました。

「泣いたつていいの。でもバーンが泣いてるとお母さんも悲しくなるわ。強い子じゃなくてもいいの。怖いものがない人なんていないから。」

「怒りんぼはいい子じゃないよね。僕がばかな事ばかりしてるとお母さん嫌になっちゃうよね?」

「ごんでもない。怒つてるときも、笑つてるときも、おばかさんでも、お母さんは大好きよ。」

お母さんはにっこり笑って

「バーンはバーンらしくしてくれるのが一番よ。だつてお母さんは今のバーンが大好きですもの。」

誰もが疑問に思う「いい子」についてウサギの親子が答えてくれます。

「いいこ」とは何だろう?と考えている人にはぜひ読んでほしい一冊になっています。「いい子」について考えている人には大切なことが分かる作品になっていると思います。

(ジーン・モテシット文/富山屋)